

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	国語科・論理国語	学年・コース	第3学年（普通・夢トライコース）	予定時数	17時間
--------	----------	--------	------------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
・「和の思想」 （長谷川權）	・具体と抽象や、対比といった要素に注意しながら日本人の生活や文化についての多面的な筆者の主張を読み取り、自分の考えを深めることができる。	知・技	・本文を読むのに必要な語句の意味を理解している。 ・具体例のもつ役割を意識して本文の内容を理解している。	・定期考査 ・プリント／行動観察
		思・判・表	・筆者が挙げている『古今和歌集』の「和」について理解している。 ・「和は、間があってはじめて成り立つ」という筆者の主張とその根拠を正しく読み取っている。	・定期考査 ・プリント／行動観察
		主体的学習	・「和」や「間」の具体例について調べ、自分自身で理解を深めようとしている。	・プリント／行動観察
・「ミロのヴィーナス」 （清岡卓行）	・前提から主張が導かれている文章構成に注目して、本教材独特の論理展開を吟味することで、主張と根拠の結びつきについて読み取り、自分の考えを深めることができる。	知・技	・本文を読むのに必要な語句の意味を理解している。 ・主張とその前提など情報と情報の関係について理解している。	・定期考査 ・プリント／行動観察
		思・判・表	・腕や手が象徴するものについての筆者の考えを読み取っている。 ・「ミロのヴィーナスの腕は失われている必要があった」という主張の根拠を理解している。	・定期考査 ・プリント／行動観察
		主体的学習	・写真などを参照にして、筆者の主張するミロのヴィーナスの魅力を具体的に理解しようとしている。	・プリント／行動観察
・「根拠を吟味しよう」	・主張とその根拠を吟味し、批判的に情報を検討	知・技	・推論における理由づけの適切さについて理解している。	・プリント／行動観察

	することができる。	思・判・表	・文章の中で前提としている知識を理解し、主張と根拠の関係について批判的に検討しながら吟味している。	・プリント／行動観察
		主体的学習	・主張と根拠の関係を理解し、自分の言語生活にも生かそうとしている。	・プリント／行動観察

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	国語科・国語表現	学年・コース	第3学年（普通・夢トライコース）	予定時数	20時間
--------	----------	--------	------------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
・「4 自己PRと面接」 ④志望理由を書こう ⑤自己推薦書や学修計画書を書く	・志望先の情報を収集した上で、志望先で取り組みたいことや将来の目標、自己PRを含めた志望動機を作成することができる。	知・技	・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増やし、文章の中で使用している。	・定期考査 ・プリント／行動観察
		思・判・表	・志望先の情報を収集した上で、志望先で取り組みたいことや将来の目標を文章で表現することができる。	・定期考査 ・プリント／行動観察
		主体的学習	・志望先の情報を収集し、将来の目標を立てようとしている。 ・表現や構成に注意して志望動機を作成しようとしている。	・プリント／行動観察
・「4 自己PRと面接」 ⑥面接にチャレンジ	・面接の質問に対する回答を考え、受け答えの仕方や言葉の使い方、礼儀作法を身に付けることができる。	知・技	・話し言葉の特徴や面接の作法を理解している。 ・場面や相手に応じた適切な表現を理解している。	・定期考査 ・プリント／行動観察
		思・判・表	・面接の質問に対して、具体的に回答を作成することができる。 ・場面や相手に応じて、適切に受け答えをすることができる。	・定期考査 ・プリント／行動観察
		主体的学習	・面接の質問に対して、具体的に回答を作成しようとしている。 ・場面や相手に応じて、適切に受け答えしようとしている。	・プリント／行動観察
・漢字、語句、敬語、表記のきまり	・漢字や語句、敬語、表記のきまりについて理解を深め、適切に使用することができる。	知・技	・自分の思いや考えを伝えるために必要な語句や表記のきまりを理解している。	・定期考査 ・プリント／行動観察
		思・判・表	・漢字や語句、敬語、表記のきまりに注意して、適切に使用することができる。	・定期考査 ・プリント／行動観察
		主体的学習	・漢字や語句、敬語、表記のきまりを理解し、適切に使用しようとしている。	・プリント／行動観察

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	地理歴史・日本史探究	学年・コース	第3学年（普通コース）	予定時数	10時間
--------	------------	--------	-------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第4章 中世社会の展開 24. 東アジアの海をゆきかう人々 25. 惣村と一揆 26. 戦国時代の幕あけ 27. 室町・戦国時代の流通経済 28. 戦国時代の政治と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色について理解する。 ・ 社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを、根拠を示して表現している。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日明貿易の展開と琉球やアイヌの文化の形成などについて、諸資料から情報を収集して理解している。 ・ 諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭し自治の村が成立したことを理解している。 ・ 諸資料から守護大名と戦国大名の相違点などの情報を読み取り、戦国大名の領国統治の特徴を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習プログラムの取り組み ・ 小テスト ・ 定期考査
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・ 一揆が形成され広まった背景や一揆の構造について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを踏まえ多面的・多角的に考察し、表現している。 ・ 堺や博多などの都市の発展と、それを支えた商人などの活動について多面的・多角的に考察し、戦国時代の地域の多様性を考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書「Try」への取り組み ・ 学習プログラムの取り組み ・ 定期考査（資料の読解・論述問題）
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東アジアの国際情勢の変化や戦国大名の登場などに着目し、諸資料を活用して前後の時代のつながりから、この時期の政治や社会の特質を見出そうとしている。 ・ 室町時代に成立した村の自治と現代社会における自治との共通点や相違点など、自身との関わりにおいて課題を主体的に追究しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に対する姿勢 ・ 学習プログラムの取り組み ・ 課題の提出

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	公民・公共	学年・コース	第1～3学年(普通・夢トライコース)	予定時数	15時間
--------	-------	--------	--------------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第5章 経済活動を行う私たち 第1節 経済のしくみと産業の変化 5 労働者の権利 6 現代の労働問題	・「日本型経営」の内容が企業別労働組合、終身雇用制、年功序列型賃金であることを理解する。	知・技	・バブル崩壊による深刻な不況・デフレや国際的な企業間競争の激化により日本の雇用構造が大きく変化した経緯を理解している。	・行動観察 ・課題 ・小テスト ・定期考査
		思・判・表	・労働組合の組織率の推移や正規雇用・非正規雇用の労働者数の推移・各国の失業率の推移等を考察し、それに伴う法整備等の見直しの必要性を適切に表現している。	・行動観察 ・小テスト (資料読み取り) ・定期考査
		主体的学習	・雇用と格差の問題が深刻化するなか、福祉のあり方を踏まえ、社会全体の抜本的な課題解決の方法を主体的に追究しようとしている。	・課題 ・授業プリント ・発問への回答状況
第2節 市場経済のしくみと金融	・市場経済を原則とする資本主義経済体制下では、価格の児童調節機能により需要量と供給量が調整されることを理解する。 ・国内総生産や国民総所得、国民所得などの経済指標を踏まえるとともに、景気変動や経済成長について理解する。 ・日本銀行の役割を理解するとともに、経済や物価安定を目的とした金融政策の方法を理解する。	知・技	・市場経済のメカニズムや各種経済指標を理解している。また金融のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段の提示方法を理解している。	・行動観察 ・課題 ・小テスト ・定期考査
		思・判・表	・需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのかを考察し、適切に表現している。またGDPが大ききことが豊かさにつながるのかを考察し、適切に表現している。	・行動観察 ・小テスト (資料読み取り) ・定期考査
		主体的学習	・需給関係によって変動する商品価格を踏まえた合理的な消費行動や、超低金利時代に生きる一員として今後の経済設計を主体的に追究しようとしている。	・課題 ・授業プリント ・発問への回答状況

短期シラバス（第2回考査分①）

教科・科目名	公民・政治経済	学年・コース	第3学年（選択）	予定時数	18 時間
--------	---------	--------	----------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第2部 現代の国際政治・国際経済 第2編 現代の国際経済 第1章 国際経済理論 1. 貿易と国際収支 2. 外国為替市場のしくみ 第2章 国際経済の動向と課題 1. 第二次世界大戦後の国際経済 2. 国際経済の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解する。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する力を養う。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解している。 ・現代の国際経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントの取り組み ・小テスト ・定期考査
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントの取り組み ・定期考査（資料の読解・論述問題）
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会を担う一員として、現代の国際社会における諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に対する姿勢 ・学習プリントの取り組み ・課題の提出

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	数学・数学 A	学年・コース	第3学年（選択）	予定時数	21時間
--------	---------	--------	----------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
計算の基礎の演習 第3章 数学と人間の活動	数の体系についての理解を深め、四則計算ができるようになる。さまざまな人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を、数学を用いて考察できるような力を培う。	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 数の計算、文字式、方程式を解く中で計算の法則を身につけている。 約数・倍数の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 課題の取組状況 定期考査の成績
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 課題の取組状況 定期考査の成績
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活における具体的な事象の考察に、数学を活用しようとする。 自らの学習について振り返り、改善を重ねながら、粘り強く学習に取り組もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 課題の提出状況

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	数学・数学B	学年・コース	第3学年（選択）	予定時数	21時間
--------	--------	--------	----------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第1章 数列 第2節 漸化式と数学的帰納法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漸化式から数列の特徴を読み取り、一般項を求めるなどの計算ができる。 ・ 数学的帰納法により、自然数に関する命題の証明ができる原理を理解し、それを利用して命題を証明することができる。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漸化式の特徴に応じて、適切な方法で一般項を求めることができる。 ・ 数学的帰納法による証明法を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動状況 ・ 小テスト ・ 課題の取組状況 ・ 定期考査の成績
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1節で学んだ数列の基本事項をもとに、漸化式からその特徴を読み取り、一般項の計算に生かすことができる。 ・ 数学的帰納法の原理に基づいた筋道立った証明をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動状況 ・ 課題の取組状況 ・ 定期考査の成績
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例題をもとに、練習問題において積極的に思考し、問題を解こうとする。 ・ 解答が不完全であったときに、どこで間違えたかを模範解答などにより確認し、類題を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動状況 ・ 課題の取組状況

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	数学・数学C	学年・コース	第3学年（選択）	予定時数	14時間
単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法	
第1章 ベクトル 第3節 空間のベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの和や差、実数倍や内積などの考え方を理解し、計算することができる。 座標をもとにしたベクトルの成分表示を利用して基本事項の計算をすることができる。 ベクトルを空間図形の性質の証明に利用できる思考力を身に付ける。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの和や差、実数倍や内積などの図示や計算ができる。 平行や垂直などの図形的性質を数式で表し、ベクトルを用いた証明をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動状況 小テスト 課題の取組状況 定期考査の成績 	
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの成分表示の考え方を理解し、和や差、実数倍における計算方法を考えることができる。 空間図形の性質の証明を、数学的な論理をもとに行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動状況 課題の取組状況 定期考査の成績 	
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 図形的な性質を見出し、その証明にベクトルを活用しようとしている。 例題をもとに、練習問題において積極的に思考し、問題を解こうとする。 解答が不完全であったときに、どこで間違えたかを模範解答などにより確認し、類題を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動状況 課題の取組状況 	
第2章 複素数平面	<ul style="list-style-type: none"> 平面上の点として複素数を捉える考え方を理解し、図形と関連させた考え方や計算ができる。 複素数の極形式による積の計算や平面上での回転の考え方を理解し、計算することができる。 複素数と平面図形との関係性を理解し、それを活用して問題を解くことができる。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 複素数の四則計算やド・モアブルの公式を利用した累乗の計算ができる。 回転や平面上の角の大きさ、三角形の形状を考えるといった図形と関連させるための考え方を理解し、計算することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動状況 小テスト 課題の取組状況 定期考査の成績 	
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 極形式の利点を理解し、問題に応じて使い分ける判断力がついているか。 平面図形の問題の様々な解法の長短を理解し、問題に応じて使い分けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動状況 課題の取組状況 定期考査の成績 	
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 複素数平面で考えることの良さを考え、理解を深めようとしている。 例題をもとに、練習問題において積極的に思考し、問題を解こうとする。 解答が不完全であったときに、どこで間違えたかを模範解答などにより確認し、類題を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動状況 課題の取組状況 	

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	理科・化学基礎	学年・コース	第3学年（普通・夢トライコース）	予定時数	14 時間
--------	---------	--------	------------------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第2章 物質の変化 第2節 酸と塩基のその反応	・酸や塩基に関する実験などを行い、酸と塩基の性質および中和反応に参与する物質の量的関係について理解する。	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・酸と塩基の定義や分類を理解し、酸と塩基の弱に基づいて分類することができる。 ・水溶液の性質(酸性・中性・塩基性)と水素イオン濃度やpHとの関係を理解し、知識を身に付けている。 ・中和反応について理解し、塩のなりたちや塩の水溶液の性質を理解している。 ・中和反応に参与する物質の量的関係を理解し、中和反応における酸と塩基の量的関係を計算によって求めることができる。 ・中和滴定の操作や中和滴定曲線を理解し、実験器具の適切な取り扱いやグラフの見方などの知識を身に付けている。 	単元テスト (小テスト) 定期考査 課題
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・酸・塩基の観察、実験から共通性を見だし、酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて考察できる。 ・中和滴定の実験を通して、それぞれの操作がどのような意味をもっているのかを理解し、実験結果に対してどのような影響があるかを考察できる。 	
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・酸、塩基や中和反応に関心をもち、それらを日常生活に関連付けて、意欲的に探究しようとする。 ・酸と塩基の反応の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとする。 	課題の提出状況 授業態度

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	理科・生物基礎	学年・コース	第3学年（普通・夢トライコース）	予定時数	14 時間
--------	---------	--------	------------------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第3章 ヒトのからだの調節 第1節 からだの調節と情報の伝達	<ul style="list-style-type: none"> ・内分泌系と自律神経系によって血糖濃度や体温が調節されるしくみについて理解する。 ・血液のはたらきと血液凝固反応について理解する。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・血糖濃度が自律神経系とホルモンによって調節されていることを理解している。 ・血液凝固のしくみを理解している。 ・糖尿病の原因と症状について理解している。 ・体温調節のしくみについて理解している。 	単元テスト （小テスト） 定期考査 課題
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・血糖濃度上昇時の自律神経系と内分泌系による血糖濃度調節のしくみについて説明できる。 ・血液凝固のしくみについて説明できる。 	
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・インスリンの働きと、血糖濃度が一定の範囲内に保たれるしくみについて、積極的に説明しようとしている。 ・血液凝固のしくみと体内環境の維持との関係について積極的に説明できる。 	課題の提出状況 授業態度

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	保健体育・体育	学年・コース	第3学年（普通・夢トライコース）	予定時数	3時間
--------	---------	--------	------------------	------	-----

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
体育理論	スポーツから得られる「恩恵」とスポーツについての「課題」から、さまざまに思考し判断し表現する学習を通して、個人がスポーツ文化を創造していく主体となっていることに気づくようにする。	知・技	（知識）スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 （技能）体育理論については「技能」に係る評価の対象がないことから、「技能」の評価基準は設定していない。	小テスト、保体ノート、訂正ノート、活動の観察（取組）
		思・判・表	スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、より良い解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	小テスト、保体ノート、訂正ノート、活動の観察（取組）
		主体的学習	スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	出席状況、忘れ物など、保体ノート、訂正ノート、活動の観察（取組）

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	保健体育・体育	学年・コース	第3学年（普通・夢トライコース）	予定時数	9時間
--------	---------	--------	------------------	------	-----

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
(選択種目) 球技	競技の勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。	知・技	(知識) 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 (技能) ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。	競技の記録表 ルールテスト 実技テスト 活動の観察
		思・判・表	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	個人ノート、班ノート、競技の記録表 自己評価表
		主体的学習	球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。	授業への取り組み、出席状況、忘れ物など、個人ノート、自己評価表、活動の観察

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	保健体育・体育	学年・コース	第3学年（普通・夢トライコース）	予定時数	8時間
--------	---------	--------	------------------	------	-----

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
ダンス	ダンスの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語などを理解するとともに、交流や発表をすること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及びダンスに主体的に取り組むとともに、協力、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。	知・技	<p>（知識）ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解している。</p> <p>（技能）創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群れで、対極の動きや空間の使い方の変化を付けて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊ることができる。</p> <p>フォークダンスでは、日本の民謡や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を強調して、音楽に合わせて多様なステップや動きと組み方で仲間と対応して踊ることができる。</p> <p>現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊ることができる。</p>	演技の記録表 ルールテスト 演技テスト 活動の観察
		思・判・表	生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	個人ノート、班ノート、演技の記録表 自己評価表
		主体的学習	ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。	授業への取り組み、出席状況、忘れ物など、個人ノート、自己評価表、活動の観察

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	芸術・音楽総合	学年・コース	第3学年（普通コース）	予定時数	14時間
単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法	
ギターアンサンブル ～ギター演奏に挑戦し、共に音楽を楽しもう～	<ul style="list-style-type: none"> ギター演奏の活動を通して、楽曲全体やそれぞれのパートがもつ雰囲気味わいながら表現する。 音や音楽が醸し出すよさや美しさなどを感じ取り、そこに価値を見いだせる感性を養う。 音や音楽を知覚・感受して、思考・判断し表現する音楽活動の過程を通して、創造的な表現の能力を伸ばす。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ギターの文化的・歴史的背景を理解している。 曲想や音楽の構造、文化的・歴史的背景との関わりを理解している。 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 実技評価 小テスト等 	
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 器楽表現に関する知識や技能を得たり生かしたりしながら、イメージをもって表現を創意工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート等 	
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 器楽演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価 授業態度等 	
鑑賞① ラヴェル「ボレロ」 ～音楽を形づくる要素を学ぼう～	<ul style="list-style-type: none"> ラヴェルの名曲を通して、オーケストラで使用される楽器の音色や特徴、歴史的背景を知る。 音楽を形づくる要素について理解し、それぞれの観点から楽曲を分析し、味わいながら鑑賞する。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> オーケストラで使用される楽器の音色や特徴、歴史的背景を理解している。 音楽を形づくる要素を理解し、それらの観点から楽曲を分析することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト等 	
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくる要素を理解し、それらの観点から楽曲を分析・鑑賞し、自身の考えを述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート等 	
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> オーケストラ作品に興味をもち、主体的に授業に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価 授業態度等 	

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	芸術・音楽実技	学年・コース	第3学年（選択）	予定時数	14時間
単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法	
ピアノ（独奏・合奏） ○8分音符と8分休符の練習 ○小品の演奏	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ演奏の活動を通して、個性を生かしながら思いや意図をもって表現する力を伸ばす。 ・音や音楽が醸し出すよさや美しさなどを感じ取り、そこに価値を見いだせる感性を養う。 ・音や音楽を知覚・感受して、思考・判断し表現する音楽活動の過程を通して、創造的な表現の能力を伸ばす。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ演奏に必要な基礎的な技能を身に付けている。 ・ピアノ演奏に必要な読譜に関する知識と技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技評価 ・小テスト等 	
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽表現に関する知識や技能を得たり生かしたりしながら、イメージをもって表現を創意工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート等 	
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価 ・授業態度等 	

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	英語・英語コミュニケーションⅡ	学年・コース	第3学年（普通・夢トライコース）	予定時数	24時間
--------	-----------------	--------	------------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
Lesson 7 Over the Wall アートで世界をつなぐ	<p>[題材内容] 世界中で壁画を描く活動についての話を通して、世界の人々と交流する方法について学習する。</p> <p>[言語材料] 関係副詞：where, when</p> <p>[言語活動] 世界の人々と交流する方法について、英語で述べることができる。</p>	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 関係副詞 where, when を用いた文の形・意味を理解している。また、世界中で壁画を描く活動について学んだり、外国の人々と交流する方法について調べた事柄を整理・理解している。 関係副詞 where, when の理解をもとに、世界中で壁画を描く活動について学んだり、外国の人々と交流する方法について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 プリント等 小テスト 振り返りシート
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 世界中で壁画を描く活動に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、外国の人々と交流する方法について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 振り返りシート 観察
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 世界中で壁画を描く活動に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、外国の人々と交流する方法について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りシート 観察

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
Communication 2 入国審査	[言語活動] 海外旅行先の空港での入国審査においてよく使われる表現を用いて、英語で対話をする。	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行先の空港で入国審査の手続きをするにあたり、旅行の目的や滞在日数などを申告する仕方を理解している。 ・海外旅行先の空港で入国審査の手続きをするにあたり、旅行の目的や滞在日数などを申告することができる技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・プリント等 ・小テスト ・振り返りシート
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行先の空港で入国審査の手続きをする状況で、必要な情報を伝えたり聞き取ったりして、相手が理解しやすいように申告している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・振り返りシート ・観察
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行先の空港で入国審査の手続きをする状況で、必要な情報を伝えたり聞き取ったりして、相手が理解しやすいように申告しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート ・観察

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	英語・論理表現Ⅱ	学年・コース	第3学年（選択）	予定時数	20時間
--------	----------	--------	----------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
Lesson 4 Wonderful World ここオススメ！	<p>・「世界のおすすめスポット」のポスターを作成するために、「名所」や「特徴」などを具体的に示す表現を理解して、考えを深めることができる。</p> <p>・「世界のおすすめスポット」のポスターを作成するために、情報や特徴、自分の考えや気持ちなどを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく書くことができる。</p>	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界のおすすめスポット」のポスターを作成するために必要となる語彙や文法を理解している。 ・「具体的に説明を加える」の表現の意味や働きを理解している。 ・「世界の名所」について、相手の発言を促す質問やそれに答える表現などを用いて、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・プリント ・小テスト
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界の名所」について、情報や特徴、自分の考えや気持ちなどを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝えている。 ・「世界のおすすめスポット」についての対話文を聞いたり、「スペイン旅行のパンフレット」を読んだりして、概要や要点、詳細を整理して捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・観察
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界の名所」について、情報や特徴、自分の考えや気持ちなどを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合おうとしている。 ・「世界のおすすめスポット」についての対話文を聞いたり、「スペイン旅行のパンフレット」を読んだりして、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・観察

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	英語・論理表現Ⅱ	学年・コース	第3学年（選択）	予定時数	時間
--------	----------	--------	----------	------	----

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
Lesson 5 Job Search 目指せ!! プロフェッショナル	<ul style="list-style-type: none"> 面接で自分をアピールするために、「職業」に関する表現を理解して、考えを深めることができる。 面接で自分をアピールするために、「職業」に関して、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合うことができる。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 面接で自分をアピールするために必要となる語彙や文法に関する事項を理解している。 「図表を説明する」「勧める」表現、動名詞や比較などを用いた表現の意味や働きを理解している。 「職業」について、相手の発言を促す質問やそれに答える表現、動名詞や比較などの表現を用いて、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 パフォーマンステスト プリント 小テスト
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 面接で自分をアピールするために、「職業」などについて、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 パフォーマンステスト 観察
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 面接で自分をアピールするために、「職業」などについて、自分の考えや気持ち、情報や特徴などを、論理の構成や展開を工夫して、話して伝え合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 パフォーマンステスト 観察

Lesson 6 New-type Robots! たよりになるね！	・「ロボットコンテスト」に出展するロボットを紹介するために、「製品の能力や特徴」などを具体的に示す表現を理解して、考えを深めることができる。 ・「ロボットコンテスト」に出展するロボットを紹介するために、情報や特徴、自分の考えや気持ちなどを、論理の構成や展開を工夫して、詳しく書くことができる。	知・技	・「ロボットコンテスト」に出展するために必要となる語彙や文法を理解している。 ・「誘う」「能力を表す」の表現、助動詞（can など）を用いた表現の意味や働きを理解している。 ・「ロボット」について、相手の発言を促す質問やそれに答える表現、助動詞（can など）などの表現を用いて、話して伝え合う技能を身に付けている。	・定期考査 ・パフォーマンステスト ・プリント ・小テスト
		思・判・表	・「ロボット」について、自分の考えや気持ち、情報などを、話して伝え合っている。	・定期考査 ・パフォーマンステスト ・観察
		主体的学習	・「ロボット」について、自分の考えや気持ち、情報などを、話して伝え合おうとしている。	・定期考査 ・パフォーマンステスト ・観察

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	理数・理数探究	学年・コース	第3学年（選択）	予定時数	14 時間
--------	---------	--------	----------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
課題の問題解決 ・基礎的な概念や原理・法則の習得 ・技能の取得、深化	・日常生活における基本的な概念や原理・法則を確認し、習得を図る。 ・再結晶やろ過など基本的な観察・実験を行い、技能の習得と深化を図る。	知・技	・主体的に身近な課題に対して、基本的な概念や原理を理解している。 ・安心安全に観察、実験を実施するための注意点を理解している。	・授業への取り組み ・プリント
		思・判・表	・主体的に身近な課題に対して、どのようにして、課題解決に向かうのか、考えをまとめ、表現する。 ・安心安全に観察、実験を実施することができる。	・授業への取り組み ・プリント
		主体的学習	・主体的に身近な課題に対して、基本的な概念や原理をもとに、課題解決の手順を立てようとしている。 ・安心安全な観察、実験を心掛けている。	・授業への取り組み ・プリント

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	家庭・フードデザイン	学年・コース	第3学年（選択）	予定時数	14 時間
--------	------------	--------	----------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第2章 栄養素のはたらきと食事計画 2節 ライフステージと 栄養 3節 食事摂取基準と 食事計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージごとの栄養について理解するとともに、発達段階と食事の関係について学ぶ。 ・栄養のバランスや調理の仕方を考えながら、それぞれの年齢に合った食事計画を学ぶ。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージごとに必要な配慮や食生活における健康上の問題点について理解することができる。 ・食行動の発達やバランスの取れた献立をたてる方法について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・行動観察 ・定期考査
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で豊かな食生活を営むための食事のあり方について考え、まとめることができる。 ・各栄養素の体内ではたらきについて学んだことを、自分の食事に活かす方法を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・行動観察 ・定期考査
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの人と協力して、問題に対する解決方法を考え、調理実習に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・行動観察 ・提出物
第6章 フードデザイン実習	<ul style="list-style-type: none"> ・調理の目的とおいしさにかかわる要因について理解するとともに、計量の方法や食品の切り方、調理方法の基礎など具体的な知識と技術を身に付ける。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・調理の目的とおいしさに関わる要因について理解している。 ・調理に必要な調理技術の基本を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・行動観察 ・定期考査
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・食物のおいしさの要因や調味、加熱などの調理操作が料理のできあがりを与える影響について考え、まとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・行動観察 ・定期考査
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの人と協力して、問題に対する解決方法を考え、調理実習に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・行動観察 ・提出物

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	商業・商品開発と流通	学年・コース	第3学年（夢トライコース）	予定時数	12 時間
--------	------------	--------	---------------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
3章 事業計画の立案	商品開発における事業計画として、価格設定、流通チャネル、プロモーション方法の種類とその特徴およびもたらされる効果について学び、事例をもとに考察することができる。	知・技	商品開発における事業計画について、価格設定、流通チャネル、プロモーションの種類とその特徴について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期考査 ・ワークシート
		思・判・表	さまざまな価格政策、流通チャネルの選択、プロモーションの種類について、事例をもとに考察することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・課題
		主体的学習	商品開発における事業計画について、自ら学び、主体的および協働的に取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・課題 ・授業への取り組み

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	商業・ビジネスコミュニケーション	学年・コース	第3学年（選択）	予定時数	15 時間
--------	------------------	--------	----------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
2章 応対に関するビジネスマナー 4 名刺交換と紹介	名刺交換時のビジネスマナーを理解し、身につける。	知・技	名刺交換時のビジネスマナーを理解している。	・小テスト ・定期考査
		思・判・表	名刺交換時のビジネスマナーを判断し、表現することができる。	・定期考査 ・ワークシート ・ロールプレイ
		主体的学習	名刺交換時のビジネスマナーについて、自ら学び、主体的および協働的に取り組むことができる。	・ワークシート ・課題 ・授業への取り組み
2章 応対に関するビジネスマナー 5 訪問・来客の応対	訪問・来客の対応時のビジネスマナーを理解し、身につける。	知・技	訪問・来客対応時のビジネスマナーを理解している。	・小テスト ・定期考査
		思・判・表	訪問・来客対応時のビジネスマナーを判断し、表現することができる。	・ワークシート ・課題 ・ロールプレイ
		主体的学習	訪問・来客対応時のビジネスマナーについて、自ら学び、主体的および協働的に取り組むことができる。	・ワークシート ・課題 ・授業への取り組み
2章 応対に関するビジネスマナー 6 電話の応対	電話の応対時のビジネスマナーを理解し、身につける。	知・技	電話応対時のビジネスマナーを理解している。	・小テスト ・定期考査

		思・判・表	電話応対時のビジネスマナーを判断し、表現することができる。	<ul style="list-style-type: none">・ワークシート・課題・ロールプレイ
		主体的学習	電話応対時のビジネスマナーについて、自ら学び、主体的および協働的に取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none">・ワークシート・課題・授業への取り組み

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	保健体育・スポーツVI	学年・コース	第3学年（選択）	予定時数	4時間
--------	-------------	--------	----------	------	-----

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> 運動する心地よさや仲間と関わって運動する楽しさを味わい、健康を維持するための運動や様々なスポーツを行う上で必要となる体力を高めることができるようにする。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の記録表 小テスト 活動の観察
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人ノート 班ノート 運動の記録表 自己評価表
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献することなどをしたり、健康・安全を確保したりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取り組み 出席状況 忘れ物など 個人ノート 自己評価表 活動の観察

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	保健体育・スポーツVI	学年・コース	第3学年（選択）	予定時数	14時間
--------	-------------	--------	----------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
(選択種目) 球技	<ul style="list-style-type: none"> ・ 競技の勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ・ ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ ターゲット型では、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさを味わい、用具や身体を使って、様々な状況に対応しながら、ボールを標的へ運ぶようにすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 競技の記録表 ・ ルールテスト ・ 実技テスト ・ 活動の観察
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人ノート ・ 班ノート ・ 競技の記録表 ・ 自己評価表
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の取り組み ・ 出席状況 ・ 忘れ物など ・ 個人ノート ・ 自己評価表 ・ 活動の観察